

● 「札幌市・鹿児島市 観光・文化交流協定」の締結について

札幌市は、平成 25 年 11 月 16 日付で、鹿児島市と「札幌市・鹿児島市 観光・文化交流協定」を締結します。

この交流協定は、両市がそれぞれ交流協定を締結している長野県松本市とのつながりをきっかけに締結の運びとなったもので、両市の観光振興と地域経済の発展に寄与することを目的としています。

両市は、北海道・札幌の開拓と発展に多くの薩摩出身者が尽力するなど、歴史的な関わりが深く、また、日本の北と南の政治・経済・文化等の拠点として発展してきた観光都市として、さまざまな交流を続けています。

今後、この協定の締結をきっかけとして、両市がさらに連携・協力し、幅広い視点での交流を促進していくことで、両市の発展へとつながることを期待しています。

1 協定の名称

「札幌市・鹿児島市 観光・文化交流協定」

2 協定の趣旨

歴史上の関わりも深く、観光都市として多くの魅力を有し、日本の北と南における政治・経済・文化・交通の拠点として発展している両市が、観光・文化面を中心とした交流を促進することで、交流人口の増加を図るとともに、双方の観光振興と地域経済の発展に寄与することを目的として、協定を締結する。

3 協定の内容

- (1) 観光振興の施策推進に関すること。
- (2) 歴史的関わりや文化を通じた交流促進に関すること。
- (3) 市民の交流促進に関すること。
- (4) 交流にあたっての民間活力を誘導する取り組みに関すること。

4 協定締結式

- (1) 日時
平成25年11月16日（土）16：00
- (2) 場所
城山観光ホテル 4 階「オーキッド」（鹿児島市新照院町 41 番 1 号）
- (3) 出席者
鹿児島市 森 博幸 市長
札幌市 上田 文雄市長

5 鹿児島市との関わりについて

(1) 歴史的なつながり（主な薩摩出身者）

① 黒田 清隆

開拓次官、開拓長官として北海道の開拓を指揮。ウィリアム・クラークやホーレス・ケプロンなど多くの御雇外国人を招請した。

② 村橋 久成

サッポロビールのルーツである開拓使麦酒醸造所の建設・事業責任者。

③ 永山 武四郎

「屯田兵の父」と呼ばれ、第2代北海道庁長官を務め北海道の開拓に尽力した。

(2) 交通拠点としてのつながり

着工認可区間における日本国内の新幹線最北南端

北海道新幹線 札幌駅（工事着工認可）

九州新幹線 鹿児島中央駅（運行中）

(3) 長野県松本市との交流

松本市と、鹿児島市・札幌市がそれぞれ交流協定を結んでいることから、平成25年8月25日に松本市・鹿児島市・札幌市の3市長鼎談が行われた。

<<参考>>

松本市・札幌市「観光・文化交流都市協定」（平成22年9月6日締結）

鹿児島市・松本市「文化・観光交流協定」（平成24年9月16日締結）

(4) 物産観光展の開催

① 鹿児島の老舗百貨店「山形屋（やまかたや）」での「北海道の物産と観光展」の開催 第50回記念 北海道の物産と観光展 平成25年11月6日～25日

※ 北海道物産展としては前回まで13年連続で売上額日本一を誇る。

② 札幌市の「さっぽろ東急百貨店」での「燃える鹿児島『大薩摩展』」の開催 第33回 燃える鹿児島「大薩摩展」 平成25年10月31日～11月6日

(5) 食の大商談会

鹿児島銀行と北洋銀行の連携協力協定（平成21年10月15日締結）により、平成21年から毎年秋に、東京・池袋において「南の逸品商談会 in Tokyo」（主催：鹿児島アグリ&フード金融協議会（構成：鹿児島銀行ほか））と「インフォメーションバザール in Tokyo」（主催：北洋銀行および帯広信用金庫）を同時開催している。

問い合わせ先

観光文化局観光コンベンション部観光企画課 高松、岸、笠井

電話：211-2376